

【2022年8月の注意点；宇宙磁場関連(太陽・台風・火山・地震・大潮など)、熱中症(タンパク・塩)、害虫】

梅雨が明けたら、あつという間に夏が来ましたね。7月中旬から徐々に太陽が強まり 7月末から全国的な猛暑月間に突入しました。この1~2 か月は熱中症の回避が一番重要です。屋外でのマスクは不要です。帽子やヘルメット内にはアイスノンのようなものを入れておくことを忘れずに。新型コロナ感染と熱中症、天秤にかけたら熱中症の方が命(脳)へのダメージが大きいです。脳が煮えないように、日差しの強い時間帯はエアコンのついた屋内で過ごしましょう。日差しの強い時間帯に屋外に長時間いる場合は、水で頭を濡らしながらでないとうちに危険ですから、くれぐれもご注意ください。大人は腰に屋外用の熱中症計をつけておくことで、子供たちの頭の位置での安全を守ることができます。学校でも、家庭でも取り入れておきたいですね。

熱中症になりやすい人は、もともとタンパクや塩が足りていない人です。言葉を変えると、「酸性体質」とも言えます。たくさんでなくてもいいので、普段から卵・肉・魚といった動物タンパクを欠かさないよう、バランスの取れた食事を意識しましょう。タンパクはすべての栄養素を運ぶトラックですから、まずタンパクの確保、それから塩・ミネラル・ビタミンですね。もちろんどんな栄養素にもアレルギーがあつては、サプリメントの効果は半分以下となり、大量に摂らないと効果が出ないだけでなく、大量かつ長期使用による「内臓疲労の蓄積」が将来の様々な病理に繋がります。

栄養素補給はアレルギー除去が必要条件、それから食事で足りない分だけをサプリメントで補給すれば十分です。「いろいろな栄養素をサプリで補給している割に良くならない」という人は、サプリの量や種類を増やす前に、基本的な栄養素に対するアレルギー、そして栄養素を横取りする各種感染源に対する施術を優先したほうがお得ですね。それは自分自身の問題はもちろんですが、アレルギー性が確実に除去された項目に関しては、子孫に遺伝することはないからです。それは妊活、および子育てにおける自分自身の負担の軽減に繋がるのです。

特に夏場の太陽(宇宙最大の電磁波源！)から体を守るために、鉄・塩・ビタミンCをいつも以上に使います。汗をたくさんかけば、汗と共に鉄・塩・ミネラルも奪われます。赤身の牛・豚・羊・カツオ・マグロをいつも以上に摂っておくこと、赤身が苦手な人は摂れるタンパク源と共に安全な鉄サプリを補充しておきましょう。

当院では鉄サプリとして、VORを推奨しています。こちらで長年使っていますがアレルギーのある人はいませんし、阿蘇の土を原料にしていますが、ヘム鉄同様の効果が期待できます。ヘム鉄やキレート鉄などのサプリもありますが、長期間使用しても「安全・安心」と言い切れる鉄サプリはVOR以外には見つかりません。鉄はたくさん摂ればいいものでもないため、鉄自体のアレルギー除去後、週1~7個、自分に必要な量だけ摂っておきます。岩石由来の液体ミネラル(希望の命水・ぱぱっとミネラル)との併用で、微量元素(トレースミネラル)を補強でき、より効果的です。

また現在の体調管理と将来の病気予防・回避のための「弱アルカリ対策」は、費用対効果が高く、普遍性・再現性の高い健康法です。体調管理・病気予防、そして医療費軽減のためにも、全ての人の「当たり前」であってほしいものです。

弱アルカリ対策の「目的」は、「朝一番尿をpH7.4前後」に維持しておくことです。

朝一番尿のpHが弱アルカリであれば、夜間の体液も当然弱アルカリ。「病気は夜、潜在感染源によって作られます」から、夜間の潜在感染源の活発化を人為的にでも抑制しておくことは、とても重要なのです。そしてその手段は、重曹クエン酸水でも、重曹カプセルでも、その他アルカリ食材の積極的摂取や糖質制限でも、何でも構いません。

尿pHを誰でも簡単に調整できるのが重曹クエン酸水や重曹カプセルなので、全ての方にまずお伝えしています。ただし、クエン酸(重曹クエン酸水・クエン酸粒)があつている人と、重曹があつている人がいますので、自分に合っている方を使って、自分の生活に応じた使い方をして、体液のpHコントロールができるといいでしょう。

2025年7月8日には太陽フレアの最大爆発が起こると予測されているように、宇宙最大の電磁波源である太陽エネルギーは2025年までそのパワーが徐々に強まると言われています。その前後には通信障害だけでなく、様々な影響を地球や人類に引き起こすことが各方面で予想されています。

屋外にいるよりはその影響は少ないですが、太陽エネルギー(磁場)は屋内にいても避けられません。その太陽エネルギーから体を守るために鉄と塩を大量に消費しますから、タンパクと共にしっかり確保しておくことは、温度・湿度・気圧変動など、環境ストレスが最も強くなる真夏には欠かせないのです。

また太陽磁場は避けられませんから、身体の電磁波キャパを超えないためにも電子機器はできるだけ最低限に。

- *自分が使うパソコン・スマホ・ゲームといった電子機器の使用は最低限にしておく
- *電子機器を使っている時及び寝ている時には必ず放電している
- *屋内では無線でなく有線による通信にしておく
- *ベッド周辺でスマホの充電を行わない
- *工作中・勉強中・睡眠中のスマホは機内モードにしておく

また太陽光線は目から入って、皮膚にシミをつくります。ビタミンCや重曹クエン酸水を使うとともに、外出時はUVカットサングラスを必ず着用して、目を守っておきましょう。

十分なタンパク・塩・鉄・微量元素の確保、そして弱アルカリ管理をしても、サインとしての不快症状が起こることもあります。その場合、以下のように消炎剤を使い分けておきましょう。

- *宇宙磁場変動(太陽フレア・日光・紫外線・大潮・台風・地震・火山・強風など)に対しては、タイレノール
- *感染源に対しては、イブ、もしくはロキソニン
- *食べたもの・化学物質・電気系の電磁波・ストレスに対しては、新セデス
- *貧血による酸欠に対しては、バファリン(バファリンが効いたら「貧血」ですから、すぐに「さわやか」に行きましょう)

そして夏休みですから、自然の中に行くことも多くなるかと思いますが、地球上もっとも人の命を奪っているのは何だかご存じですか？ 聞いたことがある人もいると思いますが、それは「蚊」です。

マラリア・デング熱・チクングニア熱・ジカウィルス感染など、蚊によって媒介された微生物によって命を脅かされるのです。またマダニによって媒介される微生物によって、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・日本紅斑熱・ライム病などの重篤な疾患にかかることもあります。ハチ・ブヨ・ノミ・アリなども刺すことで毒素と共に微生物を媒介しますし、子供たちの好きな昆虫・爬虫類・動物類ももちろん微生物を持っていますから、手洗いは大事です。

どんな感染源が体内に侵入しても大きく発症しないでいられるには、普段から弱アルカリ対策+栄養素の確保をしておくとともに、自己尿でのゲートマッサージが重要です。どんな微生物も唾液や尿に出てきますから、それをサンプルに不快症状が落ち着くまでの間、病院受診するまでの間、ゆっくり丁寧にゲートマッサージをすることで毒素排出を促してくれます。虫刺され・怪我には、「重曹を液体ミネラルで溶いたもの」を塗っておくと早く落ち着きます。

猛暑日には、さすがに蚊や虫たちもあまり出てくることはないかと思いますが、少し涼しくなったころは要注意です。イカリジン成分の虫よけをしっかり衣類の上からかけ、野山に行くなら必ず手・足・首は皮膚が出ないような服装にしましょう。足元には念のため衣類・靴の上から、農薬成分の虫よけ剤(ディート)を追加しておく完璧です。

夏休みに入って、早速水の事故が報道されています。各自が体調管理に気をつけながら、楽しい夏休みを過ごせませう願っております。